

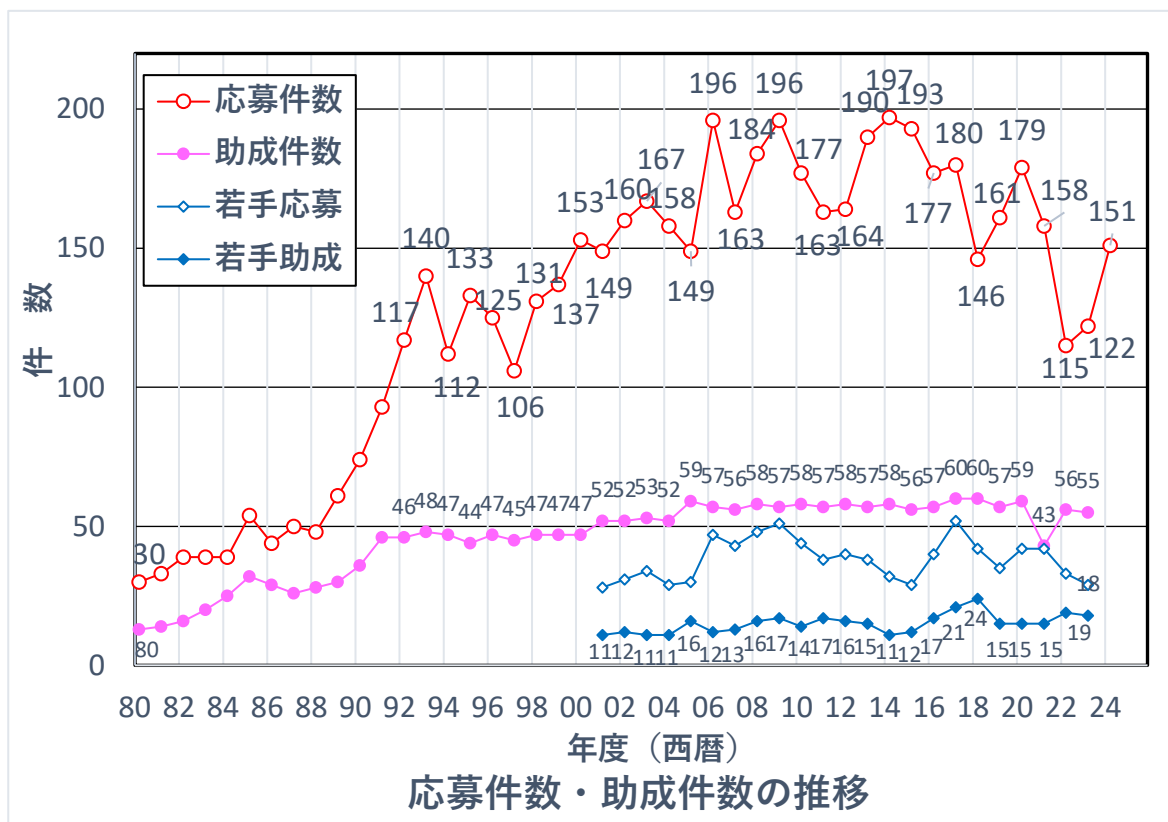
令和6年度の研究助成事業の公募は、4月1日から5月31日までの募集期間で行った。  
今年度の応募結果は以下の通りである。

【応募状況全般】（カッコ内は昨年との差）

		令和6(昨年比)	令和5	令和4	令和3	令和2
応募 件数	応募総件数	151(+29)	122	115	158	179
	1. 継続研究	28	34	19	35	33
	2. 新規研究	123	88	96	123	146
	初応募	45(+15)	30	26	42	41
	若手研究	46(+17)	29	33	42	42
	1. 大学から	129(+19)	110	103	128	141
	2. 高専から	12(+8)	4	7	8	13
3. 研究所等から	10(+2)	8	5	22	25	

- (1) 応募件数は、助成件数を絞った翌年の令和4年に115件まで減少したが、令和5年に122件、令和6年に151件と昨年より29件増加。
- (2) 初応募が45件と昨年より15件増加。今後も鉄鋼環境基金の活動を広く知っていただけるよう努力する。
- (3) 若手研究者からの応募が46件と昨年より17件増加。
- (4) 大学、高専、研究所等からの応募がいずれも増加。

【応募件数・助成件数の推移】



【分野別応募件数】

- (1) 地球環境分野は、近年増加傾向の中で、昨年の 62 件から 78 件(52%)とさらに増加。
- (2) 資源循環分野は、2 年前に大きく減少し、昨年やや増加。今年は 29 件(19%)と昨年同等レベル。
- (3) 大気環境分野は、この数年徐々に減少していたが、今年は 18 件(12%)とやや増加。
- (4) 土壌水質分野は、この数年徐々に減少していたが、今年は 25 件(17%)とやや増加。

分類・課題	令和元年度応募			令和2年度応募			令和3年度応募			令和4年度応募			令和5年度応募			令和6年度応募		
	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計
<b>(1)地球環境</b>	<b>22</b>	<b>9</b>	<b>31</b>	<b>27</b>	<b>16</b>	<b>43</b>	<b>27</b>	<b>12</b>	<b>39</b>	<b>39</b>	<b>19</b>	<b>58</b>	<b>47</b>	<b>15</b>	<b>62</b>	<b>52</b>	<b>26</b>	<b>78</b>
①カーボンニュートラル基盤技術	7	2	9	16	6	22	15	7	22	23	8	31	30	6	36	30	13	43
②抜本的なCO2排出削減	9	3	12	5	3	8	8	2	10	5	3	8	6	2	8	10	3	13
③未利用エネルギー有効活用	4	4	8	6	6	12	2	1	3	3	3	6	5	3	8	6	4	10
④地球温暖化に対する適応	2	0	2	0	1	1	2	1	3	7	4	11	5	3	8	6	5	11
⑤環境汚染物質の発生抑制技術	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	2	0	1	1
<b>(2)資源循環(副産物)</b>	<b>27</b>	<b>6</b>	<b>33</b>	<b>35</b>	<b>2</b>	<b>37</b>	<b>33</b>	<b>9</b>	<b>42</b>	<b>15</b>	<b>4</b>	<b>19</b>	<b>22</b>	<b>6</b>	<b>28</b>	<b>21</b>	<b>8</b>	<b>29</b>
①スラッグの利用・高付加価値化	25	6	31	31	2	33	32	9	41	14	4	18	17	5	22	17	7	24
②副産物の減量・減容化、再利用	2	0	2	3	0	3	1	0	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1
③プラスチックリサイクルなど循環型社会形成に資する技術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	1	3
④他産業の副産物及び廃棄物の鉄鋼業への有効利用技術	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
⑤水銀汚染廃棄物の効率的処理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
<b>(3)大気環境</b>	<b>29</b>	<b>5</b>	<b>34</b>	<b>27</b>	<b>8</b>	<b>35</b>	<b>24</b>	<b>7</b>	<b>31</b>	<b>12</b>	<b>5</b>	<b>17</b>	<b>11</b>	<b>4</b>	<b>15</b>	<b>11</b>	<b>7</b>	<b>18</b>
①光化学オキシダント・PM2.5対策、測定技術	19	5	24	23	7	30	19	7	26	8	4	12	9	4	13	9	5	14
②省エネ、低コスト、高効率化	6	0	6	3	0	3	3	0	3	2	1	3	1	0	1	2	1	3
③水銀等重金属の低減	4	0	4	1	1	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	0	1	1
<b>(4)土壌水質</b>	<b>48</b>	<b>15</b>	<b>63</b>	<b>44</b>	<b>14</b>	<b>58</b>	<b>32</b>	<b>13</b>	<b>45</b>	<b>15</b>	<b>5</b>	<b>20</b>	<b>13</b>	<b>4</b>	<b>17</b>	<b>21</b>	<b>4</b>	<b>25</b>
①水処理高効率化、重金属等の除去・回収	26	11	37	25	11	36	14	8	22	8	2	10	7	1	8	13	4	17
②土壌・地下水汚染の浄化・測定技術	14	2	16	11	3	14	6	3	9	5	1	6	3	0	3	7	0	7
③閉鎖性海域の環境対策	8	2	10	8	0	8	12	2	14	2	2	4	3	3	6	1	0	1
<b>(6)その他</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
<b>合計</b>	<b>126</b>	<b>35</b>	<b>161</b>	<b>137</b>	<b>42</b>	<b>179</b>	<b>116</b>	<b>42</b>	<b>158</b>	<b>82</b>	<b>33</b>	<b>115</b>	<b>93</b>	<b>29</b>	<b>122</b>	<b>105</b>	<b>46</b>	<b>151</b>

下線: 特に関心のある技術課題

以上